



名取市ゼロカーボンシティ宣言

名取市は、西部に緑豊かな丘陵地が広がり、東部は太平洋に面している美しい自然環境と、雷神山古墳をはじめとした歴史的な資源が数多く残る「歴史と文化のまち」です。この豊かな自然や、歴史・文化は、末永く後世に引き継いでいかなければなりません。

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、国内だけでなく世界各地で大規模な自然災害が発生しており、全ての生物の生存基盤を揺るがす極めて深刻な問題となっております。

2015年に採択されたパリ協定において、産業革命からの平均気温上昇を1.5℃に抑えるためには、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されております。

国はパリ協定に基づき、2013年度と比較し、2030年度までに温室効果ガスの26%削減を掲げておりましたが、2021年4月の地球温暖化対策推進本部の会合で、削減目標を引き上げ、46%の削減を表明しております。

このような状況を踏まえ、名取市は、豊かな自然と人々が共生するかけがえのない「愛されるふるさと名取」を未来の世代へつないでいくため、より一層の温室効果ガスの排出抑制に努め、市民とともに国際社会共通の目標である「SDGs」に尽力し、2050年までに二酸化炭素排出の実質ゼロに向け、取り組んでいくことをここに宣言いたします。

令和3年10月31日

名取市長 山田 司郎